

郷土の偉人をしのび 総検校塙保己一先生遺徳顕彰祭

9月12日、セルディで「総検校塙保己一先生遺徳顕彰祭」が開催されました。顕彰祭は、塙先生の命日に毎年開催されており、今年は約200名の方が参加し、地元である保木野地区の小学生19名も献花を行いました。

式典後には、おぬきのりこ&杉山茂生ジャズトリオによる記念コンサートが開催され、「塙保己一に捧ぐ」をはじめとする曲を披露し、その美しい音色をみなさん楽しんでいました。



塙先生をしのび献花をする保木野地区の小学生たち

本市所蔵の文化財が 八戸市博物館で展示されます

10月6日(土)～11月4日(日)に青森県八戸市で開催される「丹後平古墳群と蝦夷の世界」展に、本市所蔵の「伝高崎市若田町出土獅噛環頭大刀柄頭」「薬師堂東遺跡出土ガラス小玉鑄型」が出品されます。この展示会は、八戸市の丹後平古墳群の出土品195点が今年3月に国の重要文化財指定を受けたことを記念して開催されるもの。丹後平古墳群出土品にある「獅噛環頭」は、東日本での発掘例が非常に少なく大変貴重なものです。また、丹後平古墳群からはガラス小玉も発掘されたことから、その製造に使用されるガラス小玉鑄型を今回展示することとなりました。



今回展示が決まった「獅噛環頭大刀柄頭」「ガラス小玉鑄型」は本庄市立歴史民俗資料館で保管されているもの。「ガラス小玉鑄型」の完形品は常時展示している。

しがみかんとうた ちつかがしら 獅噛環頭大刀柄頭



刀の柄の先端に取り付けた装飾金具。古墳時代後期の6世紀には、柄頭が環状で、環の中に竜や鳳凰などを表現した装飾豊かな大刀が数多く作られました。獅噛環頭大刀は環のなかに正面を向き

環を噛む獣面を表現したもので、一般に獅子と解釈されていますが、竜を正面から見た表現ととらえる意見もあります。類例が少なく、6世紀後半の短い期間に製作されたものと考えられています。

歴史民俗資料館所蔵の獅噛環頭大刀柄頭は、初代本庄町長諸井興久氏の収集品で、「上野國碓氷郡八幡村若田村ノ内狐塚傍ノ墳ヨリ明治三十一年二月日失念発掘ス」と墨書された紙片が結び付けられています。鍔銅金箔の金銅製で、長さ、環頭幅とも5.8cmです。

ガラス小玉鑄型



ガラス小玉鑄型は直径3～5mmのガラス小玉を製作するための鑄型です。薬師堂東遺跡では、平成24年度に本庄東中学校舎建設に伴う発掘調査で古墳時代～平安時代にかけての竪穴式住居跡300軒以上が検出され、多くの土器とともに7世紀前半～中葉にかけての完形品1点(歴史民俗資料館で展示)を含むガラス小玉鑄型片が出土しました。

ガラス小玉鑄型は、朝鮮半島や九州、近畿、中部、関東地方など4～8世紀の遺跡で発見されていますが、完形品の出土は世界で初となります。また一遺跡での出土点数も、大阪府柏原市舟橋遺跡での23点がこれまで最多でしたが、薬師堂東遺跡での188点という出土点数の多さは他を圧倒するものです。

ガラス小玉鑄型は、朝鮮半島や九州、近畿、中部、関東地方など4～8世紀の遺跡で発見されていますが、完形品の出土は世界で初となります。また一遺跡での出土点数も、大阪府柏原市舟橋遺跡での23点がこれまで最多でしたが、薬師堂東遺跡での188点という出土点数の多さは他を圧倒するものです。

障害者と健常者との共生

ブラインドサッカー東日本リーグ2018開催

9月2日、若泉運動公園多目的グラウンドでブラインドサッカー東日本リーグ2018の開幕節が開催されました。5人制サッカー(ブラインドサッカー)は、視覚障害者を対象としたサッカーで、パラリンピックの正式競技です。

当日は多くの観戦者から、アイマスクをしているにも関わらず繰り広げられる華麗なプレーに驚きと歓声が沸き起こっていました。また、会場内では、サッカー元日本代表の北澤豪氏によるトークショーやブラインドサッカー体験教室なども行われ、大いに盛り上がり、来場者の笑顔や興奮が絶えない一日となりました。



①



②



③



④



⑤

- ① 視界が遮られた中で音を頼りにプレーをする選手たち
- ② 弱視の選手がプレーするロービジョンフットサル
- ③ トークショーではロシアワールドカップの裏話も
- ④⑤ 仲間の声を頼りに楽しんだブラインドサッカー体験教室

地震災害を想定して 総合防災訓練を実施

9月9日、本庄南小学校で地元自治会・本庄南小学校児童・消防本部・警察などの参加により、本庄市総合防災訓練を実施しました。当日予定していた防災ヘリコプターによる救出・救助訓練は、北海道で発生した地震のため中止となりましたが、近年多発する災害に備え、避難訓練、初期消火訓練、給水訓練などさまざまな訓練を行い、災害発生時に備えた行動の確認を行いました。



はしご車による救出訓練の様子。校舎西側屋上にはしごを伸ばし、バスケットにより屋上から救出

尊い命にご冥福を 長峰墓地慰霊法要

大正12年9月1日に発生した関東大震災の混乱の中、流言飛語により、市内で八十余名の朝鮮人の尊い生命が奪われました。その犠牲者のご冥福を祈る慰霊追悼の式典が、9月1日に東台5丁目の長峰墓地で行われました。

式典には、吉田市長をはじめ、関係団体の代表や市民のみなさんが多数出席し、焼香の列が続きました。



市仏教会の僧侶の読経に続き、市長より慰霊の辞が述べられた